

第3学年美術科学習指導案

日時 令和3年11月2日(火) 5校時

学級 宮古市立河南中学校 3年B組 27名

授業者 教諭 安倍 詩織

1 題材名 日本の美術文化～北斎が描く浮世絵の世界～

2 内容のまとめ 第3学年 「B鑑賞」(1)ア(ア) イ(イ) [共通事項]ア、イ

3 題材の目標

(1) 構図や色彩が感情にもたらす効果や、線、彫りや摺りなどの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや浮世絵の作風などで捉えることを理解している。

【知識及び技能】[共通事項ア、イ]

(2) 浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。

【思考力、判断力、表現力等】B鑑賞(1)ア(ア)

日本の美術文化として受け継がれてきた浮世絵の表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。

【思考力、判断力、表現力等】B鑑賞(1)イ(イ)

(3) 浮世絵の表現のよさや美しさを主体的に感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

4 題材について

(1)生徒について

ア 1学年では、ノーマン・ロックウェルの作品を鑑賞した。庶民の日常生活にスポットを当てた作品は、生徒も共感しながら作品の中に入り込んで鑑賞することができた。また、描かれているものや色彩から自分なりの物語を想像し共有することで、見方や感じ方を広げられた。

イ 2学年では、ピカソの作品を鑑賞した。特に『ゲルニカ』では、描かれているモチーフや色づかいから、作者が戦争について伝えようとしたメッセージをそれぞれが感じ取り、意見を交流して考えを深めた。

ウ 生徒は、描かれているモチーフや色彩に、作者の想いが込められていることを理解し、自分なりの根拠を持ちながら、作品から感じ取ったことを書いたり、話したりすることができる。

(2)題材について

ア 浮世絵は日本独特の美術作品であり、優れた技術で制作され、また西洋の多くの画家たちに影響を与えるほどの魅力を持っている。

イ 東京オリンピックの開催で、日本文化にも注目が集まった現在、国内外から長きにわたって高い評価を受け、愛され続けている葛飾北斎の作品を通して、日本の美術文化に愛情と誇りを持ち、継承と創造についての考えを深めさせたい。

ウ これまで海外の作家のメッセージ性が強い作品を鑑賞してきた生徒たちにとって、浮世絵の作品はあまりなじみがなく、すぐに興味が持てる作品ではないと思われる。そこで、導入では、浮世絵が海外の人たちにも受け入れられ、さらには身近なものとなっている具体例を紹介し、生徒の興味や関心を引き付けながら展開していく。

(3)指導について

- ア 6点の『富嶽三十六景』を準備し、共通点を見つけたり、自分が一番魅力を感じた作品を選択して鑑賞したりすることによって、色彩や構図などの造形的な視点を持って、主体的に鑑賞できるようにする。
- イ 鑑賞の目標や、鑑賞の視点を明確にしてから活動することで、一人一人が意欲をもって取り組めるようにする。鑑賞の視点は、モニターを使用しながら視覚的にわかりやすく説明し、全員が目標や取り組む内容をよく理解したうえで活動できるようにする。

5 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| ①構図や色彩が感情にもたらす効果や、線、彫りや摺りなどの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや浮世絵の作風などで捉えることを理解している。【知】 | ①造形的な美しさを感じ取り、制作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。【鑑】 | ①浮世絵の表現のよさや美しさを主体的に感じ取ろうと鑑賞活動に取り組んでいる。【態鑑】 ②美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞活動に取り組んでいる。【態鑑】 |

6 指導と評価の計画(2時間)

※網掛けは記録に残す評価

| 時 | ねらい・学習活動 | 評価規準 | | |
|---------|---|-------------|-------------|-----|
| | | 知・技 | 思・判・表 | 態 |
| 1 本時 | 日本独特の美術作品である浮世絵の作品を鑑賞し、描かれた情景や構図の工夫などから、浮世絵のよさや美しさについて見方や感じ方を深めることができる。 | ① ワークシート | ① ワークシート | ①観察 |
| 2 | 浮世絵が西洋の芸術家たちに高く評価され影響を与えたことを知り、日本の美術文化に愛情と誇りを持ち、継承と創造についての考えを深めることができる。 | ① ワークシート | ① ワークシート | ②観察 |

7 本時の指導(1時間目/全2時間)

(1)目標

- ・ 構図や色彩がもたらす効果や、線、彫りや擦りなどの特徴を基に、作品の全体の良さを捉えることができる。【知識・技能】
- ・ 造形的な美しさを感じ取り、制作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。【思考・判断・表現】
- ・ 浮世絵の表現に関心を持ち、制作者の意図と創造的な工夫を感じ、日本美術のよさや美しさを感じようと主体的に鑑賞活動に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

(2)評価規準

| 評価の観点 | B「概ね満足である」と判断される状況 | 支援を要する生徒への手立て |
|-----------------|--|-------------------------------------|
| 【知識】 | 構図や色彩がもたらす効果や、浮世絵の特徴を基に、作品全体のよさを捉えることができる。 | 構図の工夫や浮世絵の特徴について、鑑賞活動を行う前に視点をを持たせる。 |
| 【思考・判断・表現】 | 造形的な美しさを感じ取り、制作者の表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 | 鑑賞の視点を与え、制作者の意図や工夫を考えやすいようにする。 |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | 浮世絵の表現に関心を持って鑑賞し、制作者の意図と創造的な工夫を感じ取ろうと鑑賞活動に取り組んでいる。 | 机間巡視の際に、生徒が関心を持てるような声掛けをする。 |

(3)研究との関わり(UDの視点)

焦点化…①学習活動の目的を明確にし、目標を持って鑑賞に取り組む。

視覚化…①鑑賞の視点をモニターで紹介することで、鑑賞活動の具体的なイメージを持たせる。

②見つけた作品のよさや美しさを、モニターを使って紹介し、他の生徒が感じたことやイメージを視覚的に捉えて共有する。

共有化…①自分が選択した作品のよさや美しさをお互いに伝えあうことで、見方や感じ方を深める。

(4)本時の展開

| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意点 (◆評価) | UDの視点 |
|---|--|--|--|
| 導入 10分 | <p>1 <u>浮世絵をテーマにフランスで制作された東京オリンピックのCM映像を見る</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 映し出されたものに注目する。 <p>2 『富嶽三十六景』から6点の作品を提示し、共通点を探す</p> <p>3 <u>鑑賞の目標を決める</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 6作品から1点選び鑑賞すること、その作品を友達に紹介することを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> なぜ日本を象徴するものとして、力士と浮世絵が選ばれたのか投げかけ、どちらも日本で生まれた「伝統文化」とあるという認識をもたせる。 3～4人グループで作品を共有して見る。 作品は実物大にし、細部までじっくり鑑賞できるようにする。 誰かに自分の好きなものを紹介するとき、何を伝えれば相手に伝わるか投げかける。 | <p>UDの視点</p> <p>焦点化①</p> |
| <p>【学習課題】浮世絵の <u>魅力・おもしろさ</u> を紹介しよう</p> | | | |
| 展開 35分 | <p>4 <u>自分が好きな作品を1点選び、作品の魅力を見つける</u></p> <p>鑑賞の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士山の描き方 風景 (季節、場所、時間帯) 様子 (音や声、会話) <p>(15分)</p> <p>5 <u>グループ内で作品を紹介し合う</u></p> <p>(10分)</p> <p>6 <u>全体の場でも見つけた魅力を紹介し、見方や感じ方を全体で共有する(10分)</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> 自分で作品を1つに選ぶことで、作品をより主体的に見つめさせる。 鑑賞の視点を数名の生徒に発表させ、モニターを使って紹介する。 ◆【主体的に取り組む態度】 浮世絵の表現のよさや美しさを主体的に感じ取ろうと鑑賞活動に取り組んでいる。 ◆【知識】 構図や色彩が感情にもたらす効果や、線、彫りや摺りなどの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや浮世絵の作風などで捉えることを理解している。 ◆【思考・判断・表現】 造形的な美しさを感じ取り、制作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 | <p>視覚化①</p> <p>共有化①</p> <p>視覚化② 共有化①</p> |
| 終末 5分 | <p>7 <u>振り返り</u></p> <p>8 <u>次の時間への意欲を持たせる</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> 授業前と授業後で、浮世絵の見方を深めることができたかを振り返る。 浮世絵は西洋の作家にも大きな影響を与えていることを伝え、次回への意欲を持たせる。 | |